

むらやま

～GO-TO TOGO～

第2号



編集・発行
村山市教育委員会
学校統合推進室

統合 タイムズ

村山市は、歴史的にも地理的にも、最上川をはさんだ東西で、一定の地域のまとまりを作ってきました。統合の年次も、東部は令和11年4月、西部は令和10年4月の予定です。

このことを受け、「統合準備委員会」も、東西それぞれで設置することとし各種準備を進めています。

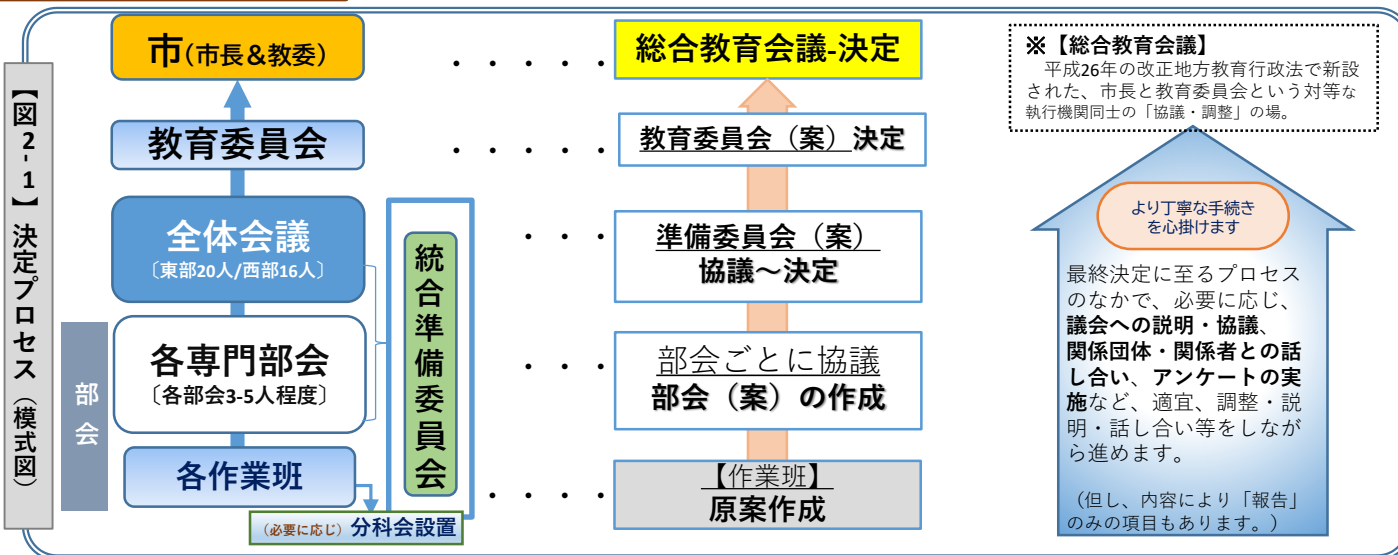
統合後の「未来の学校」の形は、子どもたち・市民・教職員・行政・関係者などが広く参画することで、学ぶ幸せが感じられる“学校”が形づくられると考えています。いろんな面でいい学校を目指し、前向きにプラス思考で、夢や想いを語り合いながら準備を進めています。

TOP INFORMATION (Topics)

統合準備委員会 “決定プロセス” って？

準備委員会では、基本的に全ての案件について検討し、《総合教育会議》で(案)を決定する、というプロセスを経ます。

学校統合に向け、準備する項目は多岐にわたりますが、下記(図2-1)のような過程を経て、丁寧に一つひとつ協議し、項目・内容を「決定」しながら前に進めています。(東西委員会共通)



統成人語

あるあるの「三省堂国語辞典第八版」の「まる(丸)」の項目で初めて解説された話題にもなった。辞書説明は「①の読み方。山形県では『いちまる』と読む」といわれる。山形県内だけとは、実に興味深い。この独特の言い方の起源は、旧山形師範学校から学校教育を通して広まったという説が有力だ。山形独特の学校方言には「オーバン(用)紙」や「(先生に)かげられる」というものもある。電話に出る際に「〇〇でしたー」と過去形になるのも山形ならでは。▼鶴岡出身の方言学者井上史雄氏によると、21世紀の若者世代では「昔からの方言語彙」が使われなくなる勢いが激しいが、このイチマル・イチカッコという言い方には活力があり、このまま生き延びるだろうと予測している▼今、辞書づくりにかける編集者の熱き思いを描くドラマ「舟を編む」が話題だ。学校は、同じ空間で目標に向かって進むことから、よく「船」に例えられる。その意味で、学校統合は「船」を編む仕事といえる。辞書づくりと同様、地道さと緻密さと、そして、粘り強さが求められる。

イチマル、イチカッコ。①、(1)の読み方である。でもこれは山形県のみ。の言い方のようにで全国的にはマルイチ、カッコイチという。「山形

【表2】 統合準備委員 (名簿) ～R7年度～

◆統合準備委員会の委員 ～東部20名/西部16名で組織～

先月号でお知らせした統合準備委員会ですが、東西の関係地域から推薦していただき、東部は20名、西部は16名の委員の方々に就任していただいております。なお、委員長・副委員長は、下記の方々が、互選で選出されました。

【東部】委員長：鈴木 悟さん 副委員長：黒沼 洋さん、八鍬瑞穂さん

【西部】委員長：青柳孝雄さん 副委員長：佐藤喬一さん

西部(葉山中学校区)

No.	カテゴリー	氏名	所属団体等	所属部会
1	地域代表	奥山 陽介	大久保地域代表	校舎整備
2		石川まゆみ	富本地域代表	地域連携
3		青柳 孝雄	村山戸沢まちづくり協議会長	総 務
4		佐藤 紀彦	大高根地域代表	校舎整備
5	学校保護者	佐藤 喬一	大久保小学校PTA会長	地域連携
6		小林 陽介	富本小学校保護者	学校運営
7		青柳 悠平	戸沢小学校保護者	総 務
8		井上結香子	富並小学校保護者	学校運営
9	認定こども園代表	伊藤 真司	葉山中学校PTA副会長	校舎整備
10		奥野 直樹	はやま認定こども園保護者	学校運営
11	小中学校代表	黒沼 梢	認定こども園ふたば大高根保育園保護者代表	地域連携
12		尾崎 惣	大久保小学校長	教育課程
13		鈴木 郁子	富本小学校長	教育課程
14		高橋 文明	戸沢小学校長	教育課程
15		工藤 美紀	富並小学校長	教育課程
16		早坂 智	葉山中学校長	教育課程

東部(楯岡中学校区)

No.	カテゴリー	氏 名	所属団体等	所属部会
1	地域代表	鈴木 悟	楯岡元気なまちづくり協議会長	総 務
2		日塔 和好	楯岡地域代表	地域連携
3		工藤 和典	西郷地域代表	総 務
4		鈴木 司	大倉地域元気な街づくり協議会	校舎整備
5		富樫 裕幸	袖崎地域市民センター長	地域連携
6		永井 雄大	袖崎地域代表	総 務
7	学校保護者	金森 成裕	楯岡小学校保護者代表	総 務
8		黒沼 洋	西郷小学校保護者代表	学校運営
9		松田 英之	袖崎小学校保護者代表	校舎整備
10		佐藤 政史	楯岡中学校保護者代表	地域連携
11	認定こども園等代表	奥山 博貴	楯岡幼稚園保護者代表	校舎整備
12		栗野 恭介	しょうよう保育園保護者代表	校舎整備
13		矢萩 好彦	輝認定こども園保護者代表	学校運営
14		鈴木 立	ひばり保育園保護者代表	地域連携
15		齋藤 浩太	西郷認定こども園保護者代表	学校運営
16		八鍬 瑞穂	ふたば袖崎保育園保護者代表	学校運営
17	小中学校代表	井上 敏春	楯岡小学校長	教育課程
18		佐藤 淳	西郷小学校長	教育課程
19		高橋 郁子	袖崎小学校長	教育課程
20		加藤 淳一	楯岡中学校長	教育課程

○全委員が「5つの専門部会」に所属し、丁寧に協議

協議項目は多岐にわたりますが、現在約60の項目について、5つの部会に分かれ協議しています。
「作業班原案→専門部会協議→準備委員会全体協議→教育委員会→市総合教育会議」というプロセスを経て、一つ一つ決めていきます。(表の図1参照)
委員の方々には、各専門部会に所属していただき、丁寧に協議しながら進めています。

一方で「期限」との兼ね合いもありますので、そこも調整しながら進めるようにしています。
なお、ご意見がある方は、事務局や委員の方々あてにお願いできればと思います。